

個人タクシー防犯訓練実施

多発するタクシー強盗犯罪から自分の身を守るために

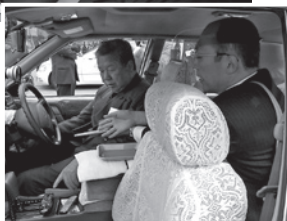
3月9日(月)午後1時から、足立オートガスタンドにおいて、頻発するタクシー強盗に対処するための防犯訓練が行われました。事件の悪質化などで社会的な関心も高く、当日は多くのマスコミ取材が訪れる中、臨場感あふれる訓練が展開されました。

当日は、警視庁生活安全総務課の中島管理官と、東京運輸支局の久松首席運輸企画専門官のあいさつに続き、実地の訓練に入りました。参加者が運転席に座り、犯人に扮した綾瀬警察署員の方が後部座席から刃物を突きつけて売上金を要求するという設定。仕切り板の有無によって乗務員の安全がいかにより左右されるかを確認した後、実際の対処の仕方を参加者が交代で体験しました。

基本手順は、財布を出しながらシートベルトを外す、防犯灯を点ける、スモークガードを作動させる、犯人が刃物を引いたらすぐに外へ出て助けを呼び110番通報……。この基本動作を全員が行い、犯人役の警察官からは「お金の受け渡しの際、犯人の気持が刃物からそれる瞬間が逃げるタイミング



訓練とはいえ、迫力があります



すぐにシートベルトを外して逃げましょう

切り板の威力が理解できた」、「財布を出したりベルトを外したりするタイミングがよくわかった」という声が多く聞かれる。一方、「講習会で説明は受けたが、実際に体験してみると全然違う」という感想も。1部の最後には、パトカーも参加し、実際にスモークガードを使用した訓練が行われました。

第2部で行われた中島管理官との質疑応答は、参加者から質問が次々と出され、活発な意見交換の場となりました。「強盗はリスクが大きい犯罪。逃げたい気持ち、はむしろ犯人の方が強い」という管理官の話が印象に残ります。最後に久松専門官が「この貴重な体験を各団体に持ち帰り、防犯意識を高めるようアピールして、犯罪の抑止力に先ずは仕切り板の装着を」と総括し、訓練を終えました。

関東運輸局と関東支部との意見交換会開催 より快適な個人タクシーにするために



あいさつする小林自動車交通部長

3月6日(金)午後2時から(社)全国個人タクシー協会関東支部で、(社)全国個人タクシー協会関東支部主催の「平成20年度意見交換会」が行われました。関東運輸局・支局の担当官22名にご出席いただき、活発な意見交換が行われました。まず、関東支部の木村支部長より「タクシーの安心・安全には、団体と個人が一生懸命に取り組むのは当然です。しかし、行政のお力をお借りしないと無理なことが多いのも事実。貴重な機会ですので、腹藏のない意見交換で、意義ある会にしていきたいと思えます」とあいさつ。それに応えて小林

豊自動車交通部長から「現在の厳しい状況にあつて、私たちも、いいものがしつかりと生き残っていける環境をつくっていきたいと思っています。個人タクシー業界もマスターズ制度をさらに充実させ、たくさん優秀な事業者が街へ出て行くようにしていきたい」とのごあいさつをいただきました。意見交換の主なテーマは、次の通りです。

(2面に続く)

都内個人タクシーの現況 (平成21年3月1日現在)

許可事業者数	18,066名	(前月比+434名)
(特別区、武三)	17,577名	北多摩190名 南多摩299名
傘下事業者数	17,868名	(前月比+395名)
(特別区、武三)	17,380名	北多摩190名 南多摩298名

(1面の意見交換会記事続き)

■意見・要望の内容

- ・試験制度について
- ・審査基準(運転経歴等)の緩和について
- ・期限更新時の講習について
- ・適正化対策の強化について
- ・駅構内権について
- ・車検有効期間の延長について
- ・助手席乗車への対応について
- ・観光タクシーの営業区域拡大

NEXCO東日本からお願い ETC開閉バーの開く タイミングが遅くなります

NEXCO東日本では、ETCレーンの安全・安心向上のため、開閉バーを適切なタイミングで開かせるよう速度抑制強化対策を平成21年3月16日より順次展開していくことにしました。これにより、正常通信を確認後、適正な走行速度に合わせたタイミングで開閉バーが作動するようになります。皆さんの安全確保のため、ご協力をお願いします。

【NEXCO東日本のETC安全5則】

- ① ETCカードを車載器に確実に挿入！有効期限にも注意！
- ② ETC利用可能なレーンを確認！
- ③ 十分な車間距離を！
- ④ 時速20キロメートル以下で進入し、レーン内は徐行！
- ⑤ 路側表示器の表示内容・開閉バーの動作を確認

東京オリンピック・パラリンピック招致委員会主催 オリピック東京招致メッセーજタクシー発進！



ゲストや木村会長・招致協議会長ら関係者によるテープカット

2016年オリピック開催地決定200日前の3月16日、港区台場にあるメデアージュにて「2016年東京招致メッセーજタクシー発進式」が行われました。当協会より参加した木村忠義会長も「われわれ個人タクシーも招致エンブレムステッカーを貼って都内を走りまわ

り、東京招致に向けてのお手伝いをしていきたい」とあいさつし、ゲストと一緒にテープカットに参加。当日はレスリング選手の浜口京子さん、元プロレスラーのアニマル浜口さん、競泳選手の成田真由美さんらゲストが登場。「多くの子どもたちにパラリンピックを見てほしい。そして東京が障害者に優しい町になり、それを全国に広げていきたい」(成田さん)、「生まれ育った東京にオリンピックが招致されることはわたしの夢なので、皆さんで協力して、オリンピックを東京に呼びましょう」(浜口京子さん)と、熱い思いを語りました。

第9回 理事会の 焦点

快適な個人タクシーを目指して交通安全教室・防犯訓練など様々な取り組みを実施

開催日時 3月13日(金)午後1時 場所 協会会議室



「年度末に向けて頑張っていきましょう」

開会后、まず木村会長より「先日シルバータクシードライバー交通安全教室が実施されました(4面参照)。事故の恐ろしさ

を改めて実感するような模範演技もあり、有意義な講義内容でした。また関東運輸局の意見交換会が行われ、こちら

も互いの理解を深めることができました」とあいさつ。また、「オリンピック招致PRステッカーについてですが、積極的に貼るようしてください。ただし、客席左右の窓と貼付場所がきちんと決まっているので、指定の場所2箇所に貼るよう、ご協力をお願いします」とお話がありました。

続く報告事項の中では、先日行われた防犯訓練についての話もあり、参加した理事から「仕切り版があると恐怖心も和らぐし、あったほうがいい」、「お金は胸ポケットに入れておくなど分散させておいたほうがいい」といった感想の声が上がりました。

計報

*2月



ステッカーを貼付した個人タクシーで出発する浜口さん



左から、成田真由美さん、浜口京子さん、アニマル浜口さん



ステッカーが貼付されました

氏名	所属団体	享年	病名
大迫公孝	(東個協・城南)	72歳	多臓器不全
大友由起男	(東個協・北第二)	58歳	胃がん
石水 悟	(東個協・杉並第二)	75歳	心不全
志賀 敬	(東個協・新東京)	55歳	すい臓がん
安井 静	(東個協・北)	56歳	肝臓がん
谷津哲次	(東個協・品川第二)	68歳	胃がん
仁平勝之	(東個協・新東京)	64歳	肝不全
山崎 強	(都営協・城北)	49歳	不明
斉藤 仁	(都営協・亀戸)	61歳	不明

ご冥福をお祈り申し上げます

個人タクシー事業者の健康管理状況等調査報告書

(平成20年 1 月 1 日～平成20年12月31日)

1. 健康診断受診状況【事業者】

○個人タクシー事業者数	17,549名
○健康診断受診事業者数	
(1) 団体主催の健康診断受診者数	
	平成20年 平成19年
	14,108名 (80.4%) (80.9%)
(2) 上記以外の健康診断受診者数	
	1,764名 (10.1%) (9.5%)
計	15,872名 (90.4%) (90.4%)
○不受診事業者数	1,677名 (9.6%) (9.6%)

◆受診率は前年と同率

○延べ受診事業者数	18,803名
○このうち再診・再検査等が必要となった事業者数	
	4,889名 (26.0%) (28.0%)
○このうち再診・再検査を受けた事業者数	
	2,164名 (44.3%) (44.6%)

- ◆再診再検査になる割合は前年より2ポイント減少
- ◆実際に再診再検査を受診した事業者は0.3ポイント減少

○健康診断不受診事業者の年齢構成

年 齢	全事業者数	不受診者数	うち代務中・ 休止中	不受診率
65歳以上	6,327名	158名	(6 名)	2.5%
60～64歳	4,355名	441名	(2 名)	10.1%
55～59歳	3,557名	469名	(6 名)	12.2%
50～54歳	1,555名	278名	(4 名)	17.9%
45～49歳	915名	189名	(1 名)	20.7%
40～44歳	633名	111名		17.5%
39歳以下	207名	31名		15.0%
	17,549名	1,677名	(19名)	

◆若年層、特に45～49歳までの不受診率が高い

2. 健康診断受診状況【団体別受診率】

全80団体中、55団体（69％）が90％以上の受診率。受診率80％以上は73団体（91％）。また、昨年はなかったが、本年は受診率60％台が1 団体あった。

3. 平成20年12月31日現在の傷病状況

事業者傷病系統	事業を休止中 (1 ヶ月以上)	代務者雇用中	合計
脳神経系	13名	16名	29名
眼・耳・鼻・咽喉	4 名	5 名	9 名
呼吸器系	15名	5 名	20名
循環器系	14名	6 名	20名
消化器系	38名	6 名	44名
骨・関節	22名	7 名	29名
その他	12名	5 名	17名
計	118名	50名	168名

◆昨年同期は合計189名で、－21名

4. 団体における健康管理状況について

- (1) 健康診断への助成（上部団体による助成も含める）
- 平成20年 平成19年
- している……………65団体（81.3%）（79.0%）
- していない……………15団体（18.7%）（21.0%）
- 助成額

金 額	団体数	平成20年	平成19年
3,000円以下	14	(17.5%)	(16.0%)
3,001～6,000円	6	(7.5%)	(8.6%)
6,001～9,000 円	2	(2.5%)	(2.5%)
9,001～12,000 円	40	(50.0%)	(44.4%)
12,001～15,000 円	1	(1.3%)	(4.9%)
15,000 円以上	2	(2.5%)	(3.7%)
助成なし	15	(18.7%)	(19.8%)
計	80		

※一般検診用と生活習慣病用等に分けて助成している団体もあるが、高い方の額で集計

- (2) 事業者の方の精神的な面やこころのケア等についてのサポート
- ・個別に相談を受けた事業者に対しては、適切な医療機関を紹介している
 - ・相談しやすい環境づくりをしている
 - ・なるべく皆で話をするようにしている
 - ・相談を受けている
 - ・ボヤキ、愚痴をよく聞くよう心がけている
 - ・担当診療所の医師・事務局と連絡を密にし、定期健診以外の情報を伝えている
 - ・本人から相談があれば、助言している
 - ・様子を見て個別に役員が対応している
 - ・クラブ活動や談話会への勧誘をしている

シルバータクシーシードライバー 交通安全教室を開催

3月3日(火) 午後1時から、世田谷区の警視庁交通安全教育センターで「シルバータクシーシードライバー交通安全教室」が開催されました。昨年、タクシーが関与した交通事故13件のうち、高齢ドライバーが関与した事故が6件。その現状を踏まえ、70歳以上の事業者が対象とされています。

当日は79歳を筆頭に16名が参加。開会に先立ち、警視庁交通部交通総務課の川上管理官から「個人タクシーは模範ドライバーの象徴。末永い活躍のために、何か1つでも新しい発見を身につけて帰っていただきたい」との挨拶。続くセレモニーでは、近くの保育園児20名による歌と遊戯の披露の後、園児手づくりの「交通安全お守り」が参加者一人ひとりの

首にかけられました。「孫と同じ歳の子供たち」(荒川支部・市原靖識さん/談)の熱演とプレゼントに会場の雰囲気が一気になごみます。

その後は受講者参加型の「生き生き運転講座」とつさの判断力を試すパズルや常識問題でウォーミングアップした後、具体例をもとにした一時停止についての講義です。経験を踏まえた参加者の活発な発言が続き、停止線での停止確認→徐行前進確認といった基本が確認されます。さらに2班に分かれて動体視力検査・運転適正検査と走行訓練を行い、各参加者は、日頃の自分の運転を見直すとともに、安全運転への思いを新たにしました。この安全教室は今後、毎年春・秋の2回開催される予定です。



講義に使われた資料



講義では、皆さん真剣に取り組んでいました



動体視力検査や運転実技の講義の様子



事務所の様子

支部員や自分のことを楽しそうに話す
安井支部長

閑静な住宅街にある大田第一支部

東京ぐるり

支部紹介 ● 第10回

東京都個人タクシー協同組合
大田第一支部

羽田空港スタッフの
安全確実な「足」として

羽田空港が近いので、航空会社や空港施設関係者の早朝・深夜の送迎を委託されている大田第一支部。374名の組合員の、約3分の1が空港関係者の「足」を支えています。クラブ活動もボーリング、ソフトボール、カラオケ、囲碁、釣り、民謡・民舞など多彩。特に野球部は、昨年の東個協大会で優勝した強豪でもあります。

発足当初から「友好と信頼」がモットーで、ざくばらんな仲間関係が自慢。しかし世代交代が進んだ近年は、良好なコミュニケーションの維持が課題とか。「ちよっとワンマン」と自己分析する安井支部長を筆頭に、10人の理事が力を合わせて、友好と信頼あふれる組織づくりに励んでいます。

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットや
クラブ活動、
名物ドライバーなど
なんでもご紹介

「しながわ水族館」と広大な公園でリフレッシュ

近くには、平成3年にオープンし、トンネル水槽が話題になった「しながわ水族館」。周辺のしながわ区民公園も抜群の環境を誇り、地元在住の支部員も家族連れで訪れます。



水族館の周りには噴水などもあります